

# 川崎市視覚障害者情報文化センター 2019 年度事業計画

## 概要

川崎市内の視覚障害者の QOL(生活の質)の向上を目指し、市内全域にサービスを展開する。

- ① 視覚障害用図書については、川崎の読者の趣向を反映するように努める。
- ② 「映像のまち・かわさき」らしく、視覚に障害のある方々が映画を楽しむことができるシネマ・デージーの製作に積極的に取り組んでいく。
- ③ 相談・訓練については、ここ数年、長期的な訓練よりも短期的な相談ニーズが強い。そのニーズに合わせてスポット的な要望に応じてゆく。また、市内全域にスピード感を持って対応できるよう努める。
- ④ 文化的事業にも力を入れていく。ヨガの体験教室は人気が高いため、今年度も引き続き、2月、8月を除いて毎月開催する。毎回多数の来場者のある音声ガイド付きDVD映画体験上映会(毎月開催)、「れきおんクラブ」(偶数月開催)、春と冬のコンサートも、例年通り開催していく。
- ⑤ センターまつりなどのイベントは、オブリガード(川崎市視覚障害者ボランティア連絡会)、川崎市視覚障害者福祉協会と積極的に連携し、運営を行う。また、地域の子供たちに視覚障害について知ってもらうため、「こども文化センター」と連携をとりイベントを企画する。
- ⑥ 事業の普及のため、地域包括支援センター、民生委員など地域の福祉関係者への広報に努める。

## 計画

### (1) 閲覧・貸出

約 760 人(個人・団体)の利用登録者に対し、点字図書は年間 270 タイトル、録音図書はシネマ・デージーを含め年間 10,520 タイトルの提供を目指す。ダウンロードサービスにより点字・録音合わせて年間約 1,720 タイトルの提供を目指す。また、点字雑誌は年間 250 タイトル、録音雑誌は年間 4,640 タイトルを提供し、総貸出数 17,400 件を提供する。

### (2) 資料製作

利用者の趣向に加え、川崎らしさの視点を加えた図書選定を行い、点字図書は年間 40 タイトル、録音図書は年間 100 タイトルの製作をする。また、テキストデージー図書 10 タイトルの製作を行う。

「映像のまち・かわさき」の事業として、視覚に障害のある方々に映画を楽しんでいただくシネマ・デージーを 20 タイトル製作する。

### (3) 点訳者・音訳者・音声ガイド製作者等の養成

本年は点訳者養成講座を実施する。また、活動中の音訳者を対象としたスキルアップ研修会を開催する。

映画の音声ガイド製作ボランティアのスキルアップのために、製作過程において必要な指導を行う。

### (4) 訓練事業の取り組み

2018年度からの訓練継続者を含め、50名に歩行、生活、コミュニケーションなどの各種訓練を570回行う。また、それ以外に訪問指導や来所指導といった短期間での訓練指導、商品の操作指導などを延べ400回実施する。

(5) 視覚障害者用具の展示と斡旋

視覚障害者のための日常生活用具と便利グッズの主なもの、最新のものなどを展示し、斡旋販売を行う。また、補装具・日常生活用具の制度や申請の方法を積極的に周知していく。

訓練と連携を密にし、訓練生にこれらの用具を紹介することでQOL(生活の質)の向上を図っていく。また、合わせて図書の利用にも繋げていく。

(6) ボランティアとの協力、連携強化

ボランティアとの連携を密にして、図書製作・各種イベント等で協働していく。

(7) 啓発普及について

- ① 事業報告会を開催し、図書館事業・視覚障害者訓練事業を各区の高齢・障害担当に広める。
- ② 各区の地域包括支援センター、民生委員との連携を図り、中途視覚障害者に接する可能性のある方へセンター事業の普及を行う。
- ③ 偶数月発行の新刊情報誌「ぶっくがいで」に加え、メールマガジン(2回/月)で最新の情報をいち早く伝えるとともに、奇数月には「川崎アイ eye センターだより」を発行し広報活動に積極的に取り組んでいく。
- ④ 小中学校から依頼のある視覚障害の啓発に関する講座には、可能な限り講師を派遣する。
- ⑤ 隣接することも文化センターと連携し、視覚障害の啓発を児童・生徒に対して行なう。

(8) 文化的活動について

音声ガイド付きDVD映画体験上映会、読書会、ヨガ教室、コンサートなどのイベントを開催する。

(9) 防災・減災対策の推進

発災時にセンター内にいる利用者、支援者、職員の安全、安心を確保するため、定期的に防災訓練を行う。また、川崎区近隣の避難場所や給水地点の確認、川崎区の災害情報などを入手し、平時から災害に備える。

**参 考**

2019年度(計画)

(1) 閲覧・貸出	
① 利用登録者数	470名
(新規登録者数)	20名
(点字使用者数)	125名
② 利用登録団体	285施設
③ 点字図書の蔵書数および貸出・提供	
蔵書数 (タイトル)	2,950タイトル
(冊数)	11,000冊

蔵書数の変化 (新収書)	150 タイトル 500 冊
貸出数 点字図書	270 タイトル 680 冊
(内 他館借受)	(20 タイトル) (80 冊)
点字雑誌	250 タイトル
④ 録音図書の蔵書数および貸出・提供	
蔵書数 (タイトル)	5,300 タイトル
(枚数)	5,300 枚
蔵書数の変化 (新収書)	200 タイトル 200 枚
貸出数	
(ア) カセットテープ	20 タイトル 80 巻
(イ) CD図書	10,000 タイトル (6,000 タイトル)
(内 他館借受)	
(ウ) シネマ・デイジー (含む 音声ガイド)	500 タイトル
(エ) カセットテープ雑誌	40 タイトル
(オ) CD雑誌	4,600 タイトル
デイジー図書コンテンツダウンロード提供	
(カ) メモリーメディア	1,700 タイトル
(キ) CD	10 タイトル
点字データコンテンツダウンロード提供	
(ク) メモリーメディア	10 タイトル
⑤レファレンスサービス情報提供件数	80 件
(2) 資料製作	
①点字図書の製作数	
(ア) 委託製作数	25 タイトル 110 冊
(イ) 委託外製作数	15 タイトル 70 冊
(ウ) プライベートサービス	35 タイトル
②録音図書の製作数	
(ア) 委託製作数	朗読 80 タイトル デイジー編集 100 タイトル
(イ) 委託外製作数	20 タイトル
(ウ) プライベートサービス	10 タイトル
③テキストデイジー図書の製作数	10 タイトル
④シネマ・デイジー・音声ガイドの製作数	

(ア) 委託製作数		10	タイトル
(イ) 委託外製作数		10	タイトル
(3) ボランティア等の養成			
① 点訳ボランティア養成講座	開催回数	16	回
② 音訳ボランティアスキルアップ研修会	開催回数	2	回
(4) 訓練事業の取り組み			
① 訓練者数	訓練者数	50	名
	(新規訓練者数)	20	名
	内訳 (複数提供あり)		
	生活訓練	3	名・・・20回
	歩行訓練	25	名・・・300回
	パソコン訓練	12	名・・・120回
	ICT 訓練	6	名・・・30回
	点字訓練	5	名・・・100回
② 相談者数		130	名・・・400回
③ 訓練生交流会(ぶらぶら会)	開催数	4	回
④ 訓練生屋外交流会	開催数	1	回
⑤ 用具の展示と斡旋	展示点数	400	点
	斡旋点数	1,400	点
(5) 啓発普及			
① 事業報告会の開催	訓練事業説明会	7	月 1回
② 各区の地域包括支援センターへの事業説明			7回
③ イベントの開催			
・ 音声ガイド付きDVD映画体験上映会	毎月開催	12	回
・ 歴史的音源を聴く会「れきおんクラブ」	偶数月開催	6	回
・ チャレンジド・ヨガ教室	2月、8月を除き毎月開催	10	回
・ 音楽コンサート	5月、12月	2	回
・ 読書会	6月、12月	2	回
・ 川崎アイ eye センターまつり	2月	1	回